

令和7年度 第1回学校運営協議会 報告

1 日 時

令和7年6月9日（月） 午後1時30分から3時30分まで

2 会場

本校 会議室等

3 出席者

- (1) 学校運営協議会委員 4名
- (2) 学校教職員 9名

4 次 第

- (1) 開 会 13:30
- (2) 学校運営協議会委員委嘱 13:30～
- (3) 自己紹介 13:35～
- (4) 校内見学 13:45～
 - 5 限授業
 - 食品棟、環境棟、農場等
- (5) 校長挨拶及び学校経営計画等の説明（校長） 14:25～
- (6) 指導方針及び取組等 14:40～
 - 学習指導（教務主任）
 - 生活指導（生徒指導主事）
 - 進路指導（進路指導主事）
 - 保健指導（保健主事）
 - 農業指導（農場長）
- (7) 質疑応答と意見交換 15:10～
- (8) まとめ、次回開催予定等 15:25～
- (9) 閉 会 15:30

5 質疑応答の内容

【委員 A】

現在、農業が注目を浴びている。農業高校で学んでいる生徒、就農する生徒は少ないことは分かっている。農業を授業や実習を通して学んでいる生徒が、農業を支えてくれることに間違いない。私学の無償化等の影響で、普通高校に生徒が流れているといった影響はあるか。

【本校】

私学無償化に関しては、全国の農業関係高校の中でも話題になっている。多面的に農業高校を知ってもらい、農業教育を充実させることは5年、10年先の食生活に影響してくると思う。

【委員 B】

先程、実習の授業を見せていただいた。私は短期大学の保育科で教えている。小さな子供たちを育てていくという事を学ばせるためには、心や気持ちだけではなく、確かな技術が大事だという事を、生徒の様子を見ながら、感じるとともに私の仕事との共通点が見えた。確かな技術を基礎・基本から丁寧に学んでいる様子が分かった。生徒の気持ち次第で、どんな勉強でも高校卒業した後にやり続けていくことができる状況が静岡農業高校にあると思う。高校で培った技術を丁寧に磨けば、夢を実現できる可能性を感じた。 等